

水害

への備えは、大丈夫ですか？

広告

久慈川・那珂川流域では、昭和61年8月と平成10年8月の洪水により、広範囲にわたり、浸水被害を受けました。

昭和61年8月の水害

昭和61年8月洪水



水戸市付近

昭和61年8月4日から5日にかけて、台風から変わった温帯低気圧による豪雨は茨城県、栃木県を中心に甚大な被害をもたらしました。

那珂川上流域の大田原雨量観測所(栃木県大田原市)では総雨量が313mmに達し、昭和22年のカスリーン台風の総降雨量なみの大雨を1日で降らせるほどの大雨でした。この降雨により、那珂川下流域の水府橋水位観測所(茨城県水戸市)では計画高水位を1mも超える過去最高水位の9.15mを観測しました。

浸水家屋は床上4,864戸、床下2,815戸の計7,679戸に達し、過去最悪の水害となりました。

平成10年8月の水害

平成10年8月26日から31日にかけて台風4号の影響で栃木県北部を中心に雨が降り続けました。那珂川流域の平均総雨量は446mmに達し、記録的な大雨が降りました。大沢雨量観測所(栃木県那須郡那須町)では1時間当たりの最も多く降った雨量は103mmという猛烈な雨量でした。

この大雨により那珂川は急激に水量が増え、28日の水府橋水位観測所では8.43mを観測しました。

浸水被害は床上411戸、床下400戸の計の計811戸に達し、

昭和61年の水害に次ぐ水害となりました。



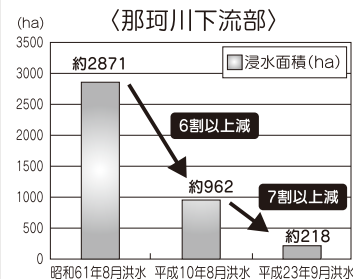
平成10年8月洪水

水戸市付近

河川整備が効果を発揮

平成23年9月洪水

人口資産が集中する那珂川下流部では、昭和61年8月、平成10年8月の洪水により甚大な被害が発生しました。



そのため抜本的な治水対策等を行った効果により、同規模の洪水であった平成23年9月の台風15号による浸水被害は大幅に減少しました。なお、未整備区間については更なる水害対策が必要となります。



大雨・集中豪雨情報はここから

電話で確認

○常陸河川国道事務所
テレホンサービス(24時間対応)

TEL:029-240-4102

携帯で確認

○常陸河川国道事務所
河川・道路気象情報
(携帯電話向け)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/bousai2/i/>



○国土交通省「川の防災情報」
<http://www.i.river.go.jp>



情報は
早めにチェック!



インターネットで確認

○常陸河川国道事務所
河川・道路気象情報(雨量・水位・河川カメラ)
<http://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/bousai2/>

○国土交通省「川の防災情報」
<http://www.river.go.jp>

○XバンドMPレーダー雨量情報
<http://www.river.go.jp/xbandrader/>

○水戸地方気象台
<http://www.jma-net.go.jp/mito/>

テレビで確認

○「地デジ」による河川防災情報の提供
地上デジタル放送(データ放送)で、河川水位情報がわかりやすくリアルタイムに確認できます。

〒310-0851

茨城県水戸市 千波町1962-2

☎029-240-4061

<http://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/>